

三中だより

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日子の 光のうちに
玉も白たま より来る岸边 望みあふれて いそしみはげむ
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び
人と協働して
貢献できる生徒の育成



令和5年11月27日 第8号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

生徒集会で対話ができる三中生に！

校長 濱野 裕之

11月21日に生徒集会がありました。集会では、執行部から、目安箱を設置する案が、出されました。その際、執行部から、参加者に意見を求める場面がありました。紹介します。

執行部：これまで、できなかった目安箱の取組をしたいと思います。その時、目安箱に入れた意見が重なる時があると思うので、目安箱に入っている意見を公表してもよいでしょうか。みなさんの、意見を聞かせて下さい。Tさんは、どうですか。

Tさん：目安箱に入れた意見は、個人的な内容の意見もあると思うので、みんなに、見られたくないものもあると思います。名前は、公表しない方がいいと思います。

執行部：Mさん、どうですか？

Mさん：目安箱に入っている意見を見て、執行部が内容によって公表するかどうかを判断してほしいと思います。

執行部：Sさん、どうですか？

Sさん：目安箱に入れる意見のカードの下に、公開か、非公開かの印をつけられる欄をつけるとよいのではないかと思います。



この後、Kさんから、執行部に「目安箱の置き場所はどこですか？」という質問があり、執行部からは、玄関前におきたいという返答があって、提案と質疑応答が終わりました。

執行部からの提案と意見を求める要求に対して、指名された3人は、自分の考えをしっかりと自分の言葉で発表できており、内容も人権やプライバシーを考慮しながらも、執行部の提案も支持できるように、よく考えて発表していました。話し合いのレベルも上がってきていることを感じました。

さて、この後、私も挙手して、生徒たちに次のような質問をしてみました。

「今の執行部からの提案に対しての話し合いは、対話になっていたと思いますか？」

生徒からは、次のよう意見が出ました。

- ・指名されていて、自分から発表していないから対話になってない？
- ・発表している時、聴いている人は、うなずいたり、反応したりしていないから対話になってない？
- ・質問について意見を出したけれど、回答がなかったから対話になってない？

多くの生徒たちは、話し合いはしているけれど、対話にはなっていないと判断していました。

今、求められてる学びの姿を一言でいえば「主体的・対話的で深い学び」となりますが、対話は会話と違って内容を深めたり、課題を解決したりすることが必要になります。

現在学校では、生徒たちの対話力を高めることで、学習内容の理解や定着を高める取組を進めています。

「聴き方」と「伝え方」の2つのことを授業中に意識

してできるように先生と生徒で対話の方法を共有して取り組んでいます。生徒集会は、そうした取組の実践の場でもあるととらえています。授業での取組と生徒会での取組がリンクすることで、さらに生徒たちの対話力が向上するように今後も取り組んでいきたいと思っています。

【聴く】相手の話しを「目と耳と心」で聴こう！

- ①やっていることをやめる。
- ②話している人に身体（ひざとへそ）を向ける。
- ③話している人の顔を見る。（目をみる）
- ④うなずきながら聴く。（ああ、いいね、うーん、えー、おー！）



【伝える】「相手意識」と「結論+理由」と「指さし」で

- ①立って話す。
- ②聴いている人に体を向ける。
- ③聴いている人の顔を見る。
- ④結論から話す。
- ⑤理解を確認しながら話す。
- ⑥示しながら、かきながら話す。



三崎地区文化祭

11月10日(金)

今年は、地震の被害により三崎公民館での開催ができず、中学校の体育館での開催になりました。三崎公民館から学校の体育館まで、机やパネルを運ぶボランティアを全校生徒で行いました。地域の方々の手助けができ、さらに地域のボランティア方々との交流をすることもでき、とてもよい時間となりました。



また、文化祭で地域の方々の作品を鑑賞した生徒からは、「この作品が素敵だ。」「どのようにして作ったのだろう。」などの感想が聞かれました。このあと、3年生が蓬莱づくりを、1年生が茶道教室を体験する予定になっています。文化祭で出会った作品や先生方に触れ合う機会もありますので、楽しみです。

奥能登芸術祭鑑賞

珠洲での開催、そして三崎町にも作品があるということで、全校生徒が芸術祭の鑑賞に出かけました。様々な作品に触れ「鑑賞と体験ができて、とても楽しかった。」「次は、違う地域の作品の鑑賞に行きたい。」「この作品が好きだった。」などという声も聞かれました。また、「すべての作品を鑑賞した。」と嬉しそうに話す生徒もいました。芸術の秋をそれぞれの思いで満喫した時間でした。さらに、2年生は自分たちの海ゴミアート作品を奥能登芸術祭 in 三崎中へと発展させるアイデアにつなげることができました。



12月行事予定

5日(火)	県評価問題(国・数・英)2年生
6日(水)	2学期期末テスト(全学年)
7日(木)	2学期期末テスト(全学年)
8日(金)	2学期期末テスト(全学年)
19日(火)	スペリングコンテスト
21日(木)	通知表渡し(3年生は三者面談)
22日(金)	2学期終業式
25日(月)	冬季休業(～令和6年1月7日)

作品コンクール 受賞 おめでとう!

- ★海を守ろう! 絵画コンクール
 - 最優秀賞 2年 畠田 彩羽
- ★統計グラフコンクール
 - 佳作 1年 知家 天乃
- ★珠洲市児童生徒絵画作品交流展
 - 優秀賞 2年 畠田 彩羽
 - 3年 干場 湧仁
 - 優良賞 1年 新出 海羽
- ★珠洲市スピーチコンテスト
 - 優秀賞 1年 新出 海羽・知家 天乃
 - 2年 前 颯人
 - 3年 前 結音
- ★珠洲市読書感想文コンクール
 - 特選 3年 高木 千穂
 - 入選 2年 畠田 彩羽・3年 知家 日菜乃

第52回海鳴祭を終えて

11月5日(日)

スローガン:『本領発揮 ～18人で魅せる 三中文化祭～』(3年 川上 華凜・3年 高木 千穂)

海鳴祭の上記スローガンのもと、10月中旬から生徒会を中心に準備にあたってきました。今年度は、18名と生徒数が少なくなったことから、ブロック委員会を3つから2つに編成し直しました。昨年度までとは勝手が違うこともありましたが、試行錯誤を重ね、話し合いをし、最善を尽くそうと努力してきました。本番ではどの発表も活動の成果が発揮されたものとなりました。



全校合唱「あとひとつ」

1年生「三崎の自然を写真で伝えよう！」

三崎の魅力は、「自然が豊かなことだ」と、自然をテーマに学習してきました。地引網体験とカメラ撮影で見つけた生き物について調べました。生き物の多様性や希少な生き物の存在に気づき、それを発信するために、フォトアルバムを作成しました。クイズも交えた楽しい発表になりました。



初めての文化祭で、最初は不安なこともたくさんあったけれど、2・3年生がいろんなことを教えてくれたので、楽しい文化祭になりました。合唱・合奏・総合の発表と練習の成果を発揮することができました。一人一人が『本領発揮』できた文化祭だったと思います。 1年 知家 天乃

かなりたくさんの予定の中で動くことは大変でしたが、まちががなく自分の力になったと思います。発表では少し声が小さかったのが心残りです。私が考えた改善策は、日頃の授業の発表の時から大きな声ではっきりと発言することです。 1年 新出 海羽

2年生「三崎の魅力=ごみ!？」

昨年度から、海ゴミを調査している2年生は、このゴミ問題を解決するために、海ゴミを使ったアート作品の制作に取り組んできました。文化祭では、奥能登国際芸術祭 in 三崎中というアイデアで展示発表をしました。また、砂ガニについての調査や職場体験で学んだことも合わせての、内容が充実した発表となりました。



今年は、合唱と初めての合奏でした。どちらも難しく、練習が大変でした。特に合奏は最初、なかなかまとまらなかったのが心配だったけれど、本番は成功して嬉しかったです。 2年 瀬戸 愛生

ステージ企画では、いろいろなクイズを作ってみながら楽しめるように頑張りました。自分たちで考えて行動することの大切さを学びました。 2年 前 颯人

文化祭は、私の中でとても満足しています。壁画も協力して描けたし、発表も上手くできたと思います。三崎中の芸術祭はスタンプを押してくれる人を見かけたので嬉しかったです。 2年 畠田 彩羽

合唱や合奏では一致団結することができて良かったです。ステージ委員会では、司会として一緒に盛り上げられたので良かったです。どの学年もどのブロックもそれぞれ頑張っていて良かったです。 2年 松井 颯志

3年生「三崎町活性化プロジェクト」

3年生は、2年生の時から考えてきた三崎町の活性化に取り組みました。地元の農家の方の協力をいただいてピザ窯づくりに挑戦しています。ピザ窯づくりは初めての体験で、未知の体験の連続だったようです。その中で学んだことやこれからの活動について発表しました



はじめ、合唱がありました。歌詞を間違えず、歌えたからよかったです。次合奏がありました。練習をしたから間違えずリズムをとれてよかったです。
3年 泉 心翔

人数が少なくなり、一人一人の役割が多くなったので、準備期間がとても短く感じました。準備している時は、本当に上手くいくのかと不安が大きかったです。充実した文化祭になったので、本当に嬉しかったです。
3年 前 結音

海鳴祭を通して、スローガンである『本領発揮』を意識することができました。そして、あっと言う間で、楽しい文化祭でした。総合の発表で言ったように、ピザ窯を完成させて三崎町を活性化できるように頑張りたいです。
3年 高木 千穂

合唱では、練習してきた成果を本番で聴いてもらったのでよかったです。合奏では指の動きが速く難しかったけど、本番ではミスすることなくできました。たくさんの方々のおかげで最高の文化祭になりました。
3年 川上 華凜

発表であまり大きい声を出せなかったのが、明日から大事な時だけでなく、授業で意見を言うときも大きな声で発言をしていきたいです。
3年 竹中 猛

保護者の皆様や地域の方々からの激励

合唱・合奏ともに「本領発揮」で感動しました。2年生は三崎の魅力である長浜を課題そして海ゴミ問題、砂ガニについてよく研究して発表できました。これからもがんばってください。
地域の方

生徒皆楽しんでいるところが良い。クイズを入れて、惹きつける演出が良い。18人、どちらかというとな気な子が多いが、期待が一人一人を成長させ、活躍しているところが良い。書道パフォーマンスは伝統になりましたね。
地域の方

一人一人が自分のやるべきことを考えて行動し、みんなの力を合わせてこの文化祭を創り上げていることが伝わってきました。途中までしか見られなかったのですが、総合の発表も私も三崎町の魅力をたくさん学ぶことができました。個人的には合唱が心にしみました。
地域の方

こんなに楽しい文化祭は初めてです。本当に素晴らしかった！18人みんなのアイデアがすごい！地域を何とかしたい。もっとみんなに興味をもってほしい。発表から熱が伝わってきました。
保護者

18人全員で力を合わせてスローガンの「本領発揮」を見せてもらいました。楽しそうな姿を見て元気ももらいました。ありがとうございました。
保護者

合唱がとても上手にハモっていて、感動的でした。総合の発表もクイズになっていて、見ている人も参加できて楽しかったです。
保護者

